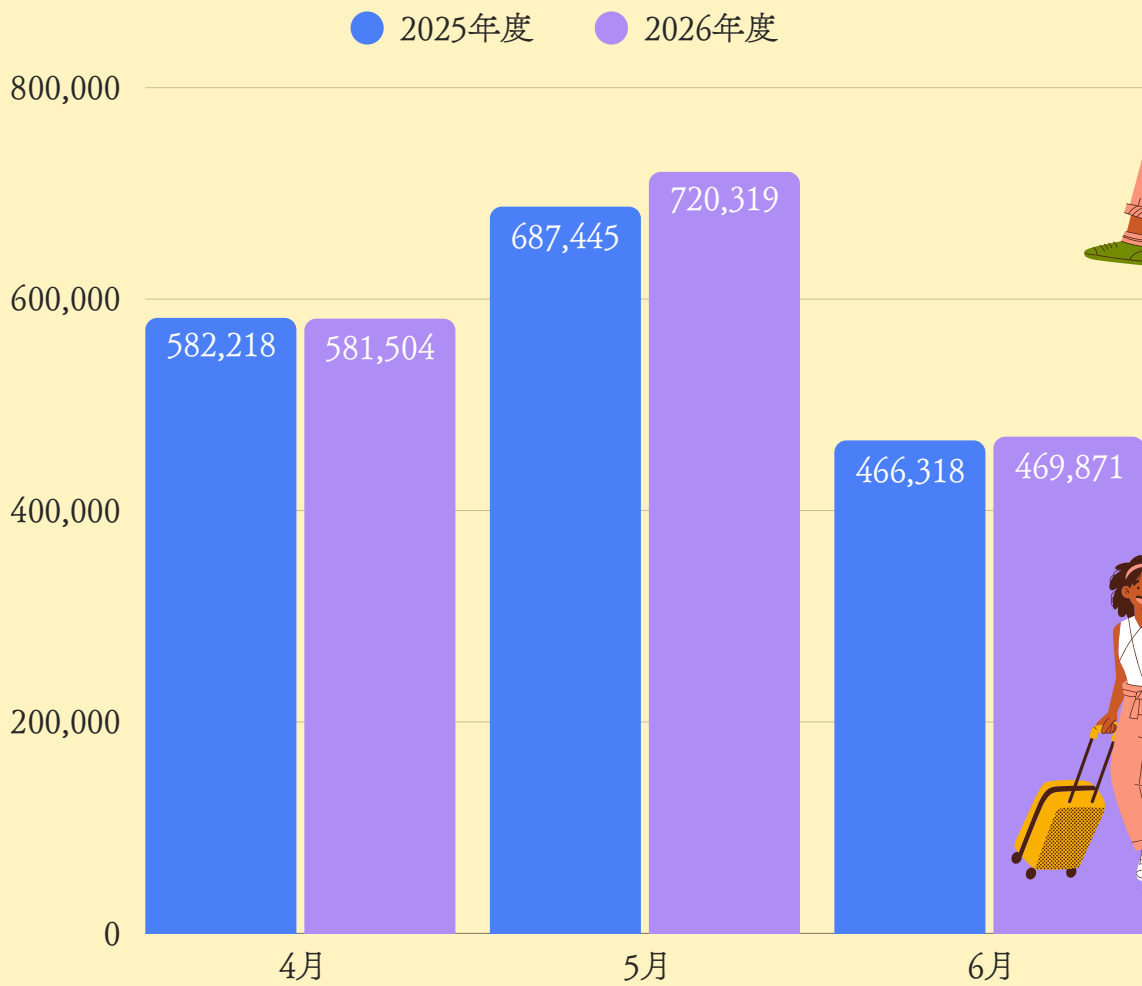


2026年4～6月 観光動態レポート抜粋

訪問者数

4～6月の訪問者数は約177万人

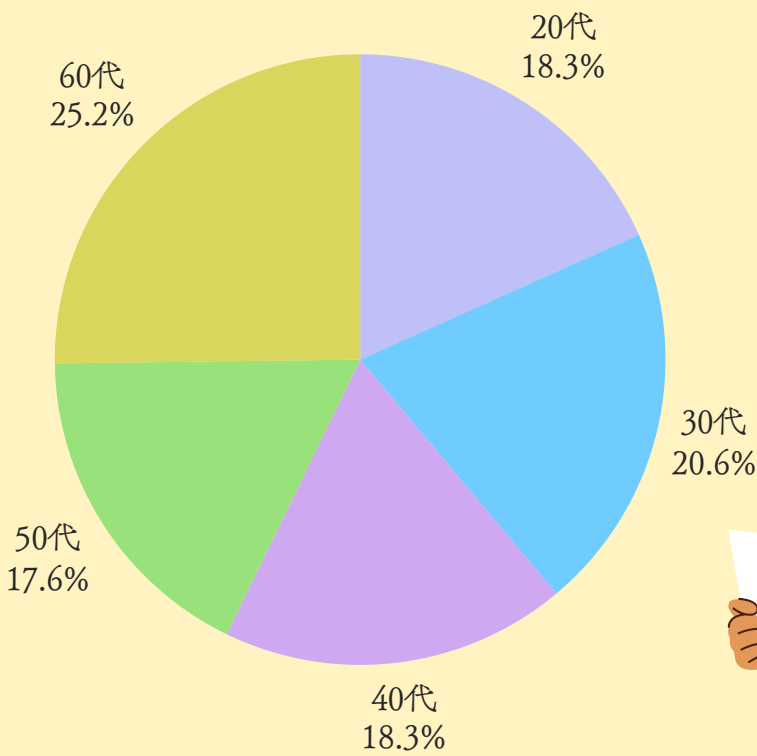
4～6月期の佐世保市への訪問者数は177.2万人(前年同期比102.1%)と増加が続きました。特にGW期間を含む5月は104.8%と大きく伸びており、行き先検討期の事前PRが効果的と考えられます。



年代別訪問者

20代、60代の伸びが顕著

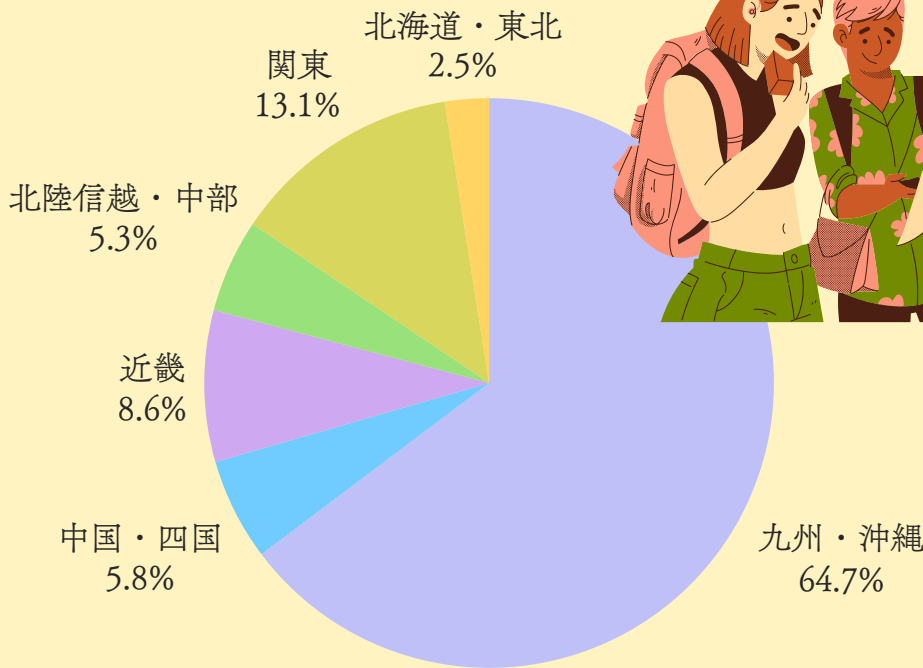
4月～6月は20代・60代が伸びる一方、30～50代の働く・子育て世代は減少し、年代間の二極化が進んでいます。中間層の需要喚起には、休暇を取りやすい時期の訴求や家族向けコンテンツの強化が有効と考えられます。



居住地別訪問者

引き続き九州・沖縄が中心

九州・沖縄という基本の構造を保ちつつ、遠方からの流入が広がっているのは良い傾向です。ただ、絶対数の大きい関東の伸び悩みは、長距離アクセスの課題を示している可能性があります。



関心度指数

(佐世保 観光)

関心度は減少傾向

関心度は全ての月で減少しており、低下傾向が継続しています。背景には、従来のWEB検索からSNSやAI活用型の検索へと、検索行動自体が変化していることも考えられます。

